

問1 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 中央集権社会                      2. 高度情報化社会                      3. 持続可能な社会                      4. 多文化共生社会

問2 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買取引する生活が一般的となった。                      2. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。                      3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。                      4. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。

問3 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった                      2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった                      3. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた                      4. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された

問4 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 食料を保存したり、煮炊きを行うための日常的な容器として作られた                      2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた                      3. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた                      4. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

問5 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 登呂遺跡                      2. 三内丸山遺跡                      3. 吉野ヶ里遺跡                      4. 岩宿遺跡

問6 縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 貝塚                      2. 古墳                      3. 環濠集落                      4. 高地性集落

問7 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。                      2. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。                      3. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。                      4. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。

問8 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため                      2. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため                      3. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため                      4. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため

問9 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 石包丁                      2. 土偶                      3. 埴輪                      4. 銅鐸

問10 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。                      2. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。                      3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。                      4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

問11 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺に奉納するための供え物として作られた。                      2. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。                      3. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。                      4. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。

問12 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた                      2. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた                      3. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた                      4. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた